

平成29年度近畿中国四国農業試験研究推進会議果樹研究会開催要領
「新品種・特産品種の積極的な活用による地域果樹産業の活性化」

[開催趣旨]

わが国の社会・産業構造の急激な変化に適応すべく、「強い農業」と「美しく活力ある農村」の創出を目指して農業や食品産業の成長産業化が積極的に推進されている。このため、産地・担い手の創意工夫により地域の強みを発揮しながら、収益力・生産基盤の強化を図るとともに国際競争力を向上することが求められている。そこで、本研究会では「新品種・特産品種の積極的な活用による地域果樹産業の活性化」を議題として、新品種・特産品種の地域における活用や地域からの海外輸出などの観点から議論・検討を行い、今後の果樹試験研究の計画・推進に役立てる。

1. 日時 平成29年7月20日(木) 13:00~17:00
7月21日(金) 8:30~14:30

2. 場所 第1日 全体会・分科会
リジェール松山(JA愛媛ビル)
〒790-8555 愛媛県松山市南堀端町2-3 JA愛媛
TEL:089-948-5630(代表)
第2日 現地検討会
八幡浜市川上地区(温州みかん)、内子町五十崎(ブドウ)

3. 主催 近畿中国四国農業試験研究推進会議果樹推進部会
近畿・中国・四国果樹研究協議会

4. 日程

1) 第1日目(7月20日) ※受付12:30~

(1) 全体会

① 開会挨拶(13:00~13:10)

② 講演(13:10~15:30)

議題:新品種・特産品種の積極的な活用による地域果樹産業の活性化

(座長) 農研機構果樹茶業研究部門ブドウ・カキ研究領域

塩谷 浩

「果樹産地における課題解決に向けた取り組み」

農林水産省中国四国農政局生産部園芸特産課

田縁 元幸

「愛媛県産かんきつの海外輸出戦略について」

愛媛県農林水産部農政企画局ブランド戦略課

鶴村 幸弘

「産官学連携によるカンキツ機能性果汁飲料の開発」

株式会社えひめ飲料

菅原 邦明

「ブドウ・カキの新品種開発の現状と課題」

農研機構果樹茶業研究部門ブドウ・カキ研究領域

佐藤 明彦

(2) 分科会

①常緑分科会(15:45~17:00)

(座長) 農研機構西日本農業研究センター傾斜地園芸研究領域

喜多 正幸

- 「愛媛オリジナル品種の高品質生産技術開発」
愛媛県農林水産研究所果樹研究センターみかん研究所 菊地 毅洋
- 「基盤整備と端境期出荷技術による「せとみ」の新たな振興」
山口県農林総合技術センター農業技術部柑きつ振興センター 兼常 康彦
- 「レモンおよびブントン育種の現状と今後の課題」
広島県立総合技術研究所農業技術センター果樹研究部 金好 純子

②落葉分科会 (15:45~17:00)

- (座長) 農研機構果樹茶業研究部門ブドウ・カキ研究領域 薬師寺 博
- 「ブドウ「オーロラブラック」を中心とした「小房ブドウ」の栽培技術と
現地試作、試験販売などの取り組みについて」
岡山県農林水産総合センター農業研究所 中島 謙
- 「カキ「太天」の栽培技術と販売戦略」
愛媛県農林水産研究所果樹研究センター 宮田 信輝
- 「ウメ産地の活性化に向けた「露茜」導入の取り組み」
和歌山県果樹試験場うめ研究所 大江 孝明

③病害虫分科会 (15:45~17:00)

- (座長) 農研機構果樹茶業研究部門ブドウ・カキ研究領域 須崎 浩一・新井 朋徳
- 「愛媛県におけるキウイフルーツかいよう病の発生、対応および品種抵抗性評価」
愛媛県農林水産研究所果樹研究センター 青野 光男
- 「EU への輸出を前提とした黄玉ユズの防除体系」
高知県農業技術センター果樹試験場 中野 和彦
- 「徳島県におけるピワキジラミの発生状況と薬剤防除について」
徳島県農林水産総合技術支援センター 阿部 成人

(3) 情報交換会 (17:30~20:00)

リジェール松山 クリスタルホール (JA 愛媛ビル 8F)

2) 第2日目 (7月21日)

現地検討会 (8:00~14:30)

1) 集合時間 : 8:00

2) 集合場所 : JA 愛媛ビル (バス乗車位置 地図参照)

3) 行程

JA 愛媛ビル → 八幡浜市川上地区 (温州みかん) → JR 八幡浜駅 → 道の駅からり (昼食) →
内子町五十崎 (現地ブドウ園) → 松山空港 → JR 松山駅

5. 参集範囲

農林水産省 近畿農政局生産部園芸特産課

農林水産省 中国四国農政局生産部園芸特産課

滋賀県農業技術振興センター 花・果樹研究部

京都府農林水産技術センター 丹後農業研究所

大阪府立環境農林水産総合研究所 食の安全研究部園芸グループ

兵庫県立農林水産技術総合センター 農業技術センター農産園芸部

